



労働者の健康の状況 (令和 8 年版)

長野労働局労働基準部
健康安全課

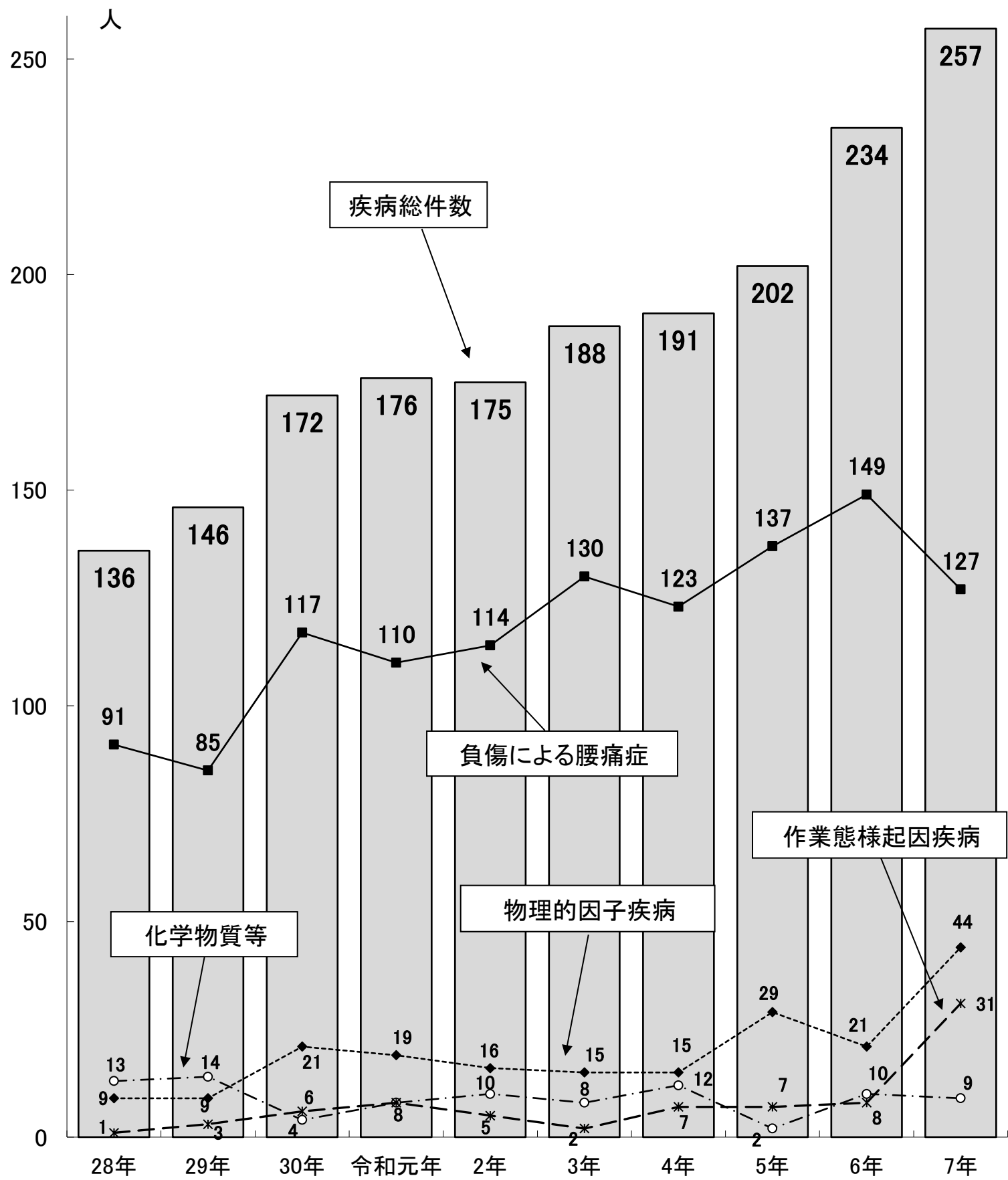
目 次

第1図	業務上疾病の推移（過去10年間）	1
第1表	産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移	2
第2表	業務上疾病発生状況（令和7年）	3
第2図	健康診断結果（有所見率）の推移	4
第3表	一般定期健康診断実施結果（令和6年・令和7年）	5
第4表－1	令和7年 一般定期健康診断項目別有所見率（その1）	6
第4表－2	令和7年 一般定期健康診断項目別有所見率（その2）	7
第5表	特殊健康診断実施状況の推移（過去30年間）	8
第6表－1	特殊健康診断実施結果（令和7年）（その1）	9
第6表－2	特殊健康診断実施結果（令和7年）（その2）	10
第7表	健康管理手帳（労働安全衛生法関係）新規交付状況	10
第8表	じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移 （過去30年間）	11
第9表	令和7年 心理的な負担の程度を把握するための検査 （いわゆるストレスチェック）実施状況	12
第10表・第3図	長野県におけるストレスチェック 集団分析実施事業場割合の推移	12
第11表	令和7年 工業中毒等特殊疾病事例	13
第12表・第4図	長野県の熱中症による労働災害発生状況	14
第13表	長野県の熱中症による災害事例	15

※ 第2図及び第3表から第6表までは、事業者から所轄の労働基準監督署に提出された健康診断結果報告書を集計したものである（厚生労働省確定値の内数）。

第1図

業務上疾病の推移(過去10年間)



(注) 1. 各年の業務上疾病数は、「休業4日以上死傷災害又は死亡災害(各翌年4月集計)」による。
なお、新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く。
2. 資料出所や定義等は第2表の注釈を参照。

第1表

産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移

年			平成28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	
総 数			② 136	② 146	① 172	③ 176	① 175	188	② 191	③ 202	① 234	257	
産 業 別	製 造 業		34	① 42	45	38	61	48	47	① 54	① 55	62	
	鉱 業		2			1				1			
	建 設 業		16	13	9	8	8	18	① 20	21	11	16	
	運輸交通業		7	① 11	18	7	17	22	16	22	24	30	
	その他の産業		② 77	80	① 100	③ 122	① 89	100	① 108	② 104	144	149	
疾 病 分 類 別	負傷に起因する疾病 ()内は腰痛で内数		(91) 104	(85) 111	(117) 135	(110) ① 123	(114) 128	(130) 161	(123) ① 153	(137) ① 157	(149) ① 172	(127) 151	
	物理的因子による疾病 ()内は熱中症で内数		(7) 9	(2) 9	(19) ① 21	(14) ① 19	(11) 16	(9) 15	(13) ① 15	(17) ① 29	(15) 21	(35) 44	
	身 体 に 過 度 の 負 担 の か か る 作 業 態 様 に 起 因 す る 疾 病	重激業務による 筋肉等の疾患 (腰痛を除く)				1				1		3	
		振動障害							1				
		頸肩腕症候群		1	3	4	5	4	1	3	3	7	17
		その他				1	3	1		3	4	1	11
		計		1	3	6	8	5	2	7	7	8	31
	酸素欠乏症												
	化 学 物 質 等 に よ る 疾 病	化 学 物 質	特定化学物質	1	3			1		5		2	
			有機溶剤	① 2	2	1		1				2	2
			上記以外	6	6	3	8	7	5	7	2	3	5
		硫化水素中毒			1				1				
		一酸化炭素中毒		4	① 2				2			1	1
		その他						1				2	1
		計		① 13	① 14	4	8	10	8	12	2	10	9
		じん肺症及びじん肺合併症		5	4	4	2	1	1	2	2	2	
	病原体による疾病		1	2	1	9	12	1	1	2	4	20	
	心理的負荷による 精神障害			1	1	① 7	1		1		4	1	
	その他		① 3	① 2			① 2			① 3	13	1	

(注) 1. 各年の業務上疾病の総数は、「休業4日以上之死傷災害又は死亡災害(各翌年4月集計)」及び「じん肺症及びじん肺合併症」の合計である。
なお、新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く。
2. 丸数字は死亡者数で内数である。

第2表

業務上疾病発生状況（令和7年）

業 種		疾病分類	負傷に起因する疾病	物 理 的 因 子による疾病					作 業 態 様					じん肺症及びじん肺合併症	化学物質等による疾病（硫化水素・一酸化炭素中毒含む）	病原体による疾病	が ん			心理的負荷による精神障害	その他の疾病	合 計	構成比	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年		
				有害光線による疾病	電離放射線による疾病	異常気圧下における疾病	異常温度条件による疾病	左記のうち熱中症（内数）	騒音による耳の疾病	その他	重激業務による筋肉等の疾患（腰痛を除く）	振動障害	頸肩腕症候群				その他	酸素欠乏症	電離放射線									化学物質	その他
製造業	食料品製造業	14 (14)				3	1					2	1									20	7.8%	18	13	10	12		
	繊維・繊維製品製造業	1 (1)																				1	0.4%	1		1			
	木材・木製品家具・装備品製造業					1	1															1	0.4%		1	2	1		
	パルプ・紙紙加工品印刷・製本業																							2		1	1		
	化学工業	2 (2)												1								3	1.2%	3	5	4	2		
	窯業・土石製品製造業					1	1					1										2	0.8%	① 4	2		3		
	鉄鋼・非鉄金属製造業	1 (1)																				1	0.4%	3	7	2	2		
	金属製品製造業	7 (5)																				7	2.7%	6	6	12	7		
	一般・電気・輸送用機械工業	9 (8)				5	4			1		4	1	2								22	8.6%	13	18	15	18		
	電気・ガス・水道業																							1	1		1		
	その他の製造業	2 (1)				3	3															5	1.9%	4	1		1		
小計		36 (32)				13	10			1		7	2	3								62	24.1%	① 55	① 54	47	48		
鉱業																									1				
建設業		8 (4)				3	3					2		3								16	6.2%	11	① 21	① 20	18		
	運輸交通業	15 (13)				7	7			1		3	2	1					1			30	11.7%	24	22	16	22		
	うち道路貨物運送業	14 (12)				7	7			1		3	2	1					1			29	11.3%	22	17	13	18		
貨物取扱業																									2				
農林水産業		5 (2)				1	1															6	2.3%	5	① 5	3	3		
商業・金融・広告業		30 (26)				5	4		1			2	1									39	15.2%	39	36	① 38	36		
保健衛生業		44 (42)				3	3			1		4	2	1		20						75	29.2%	75	39	43	38		
接客娯楽業		9 (6)				4	1					1	2	1								17	6.6%	5	11	12	12		
清掃・と畜業		2 (1)																	1			3	1.2%	9	2	6	7		
その他の事業		2 (1)				7	6															9	3.5%	11	① 9	6	4		
合 計		151 (127)				43	35		1	3		17	11	9		20				1	1	257	100.0%	① 234	③ 202	② 191	188		
令和6年		① 172 (149)				18	13	1	2			7	1	10	2	4				4	13	① 234							
令和5年		① 157 (137)	1			① 27	① 16		1			3	4	2	2	2				① 3	③ 202								
令和4年		① 153 (123)				① 12	① 11	3		1		3	3	12	2	1			1		② 191								
令和3年		161 (130)				14	9	1			1	1		8	1	1					188								

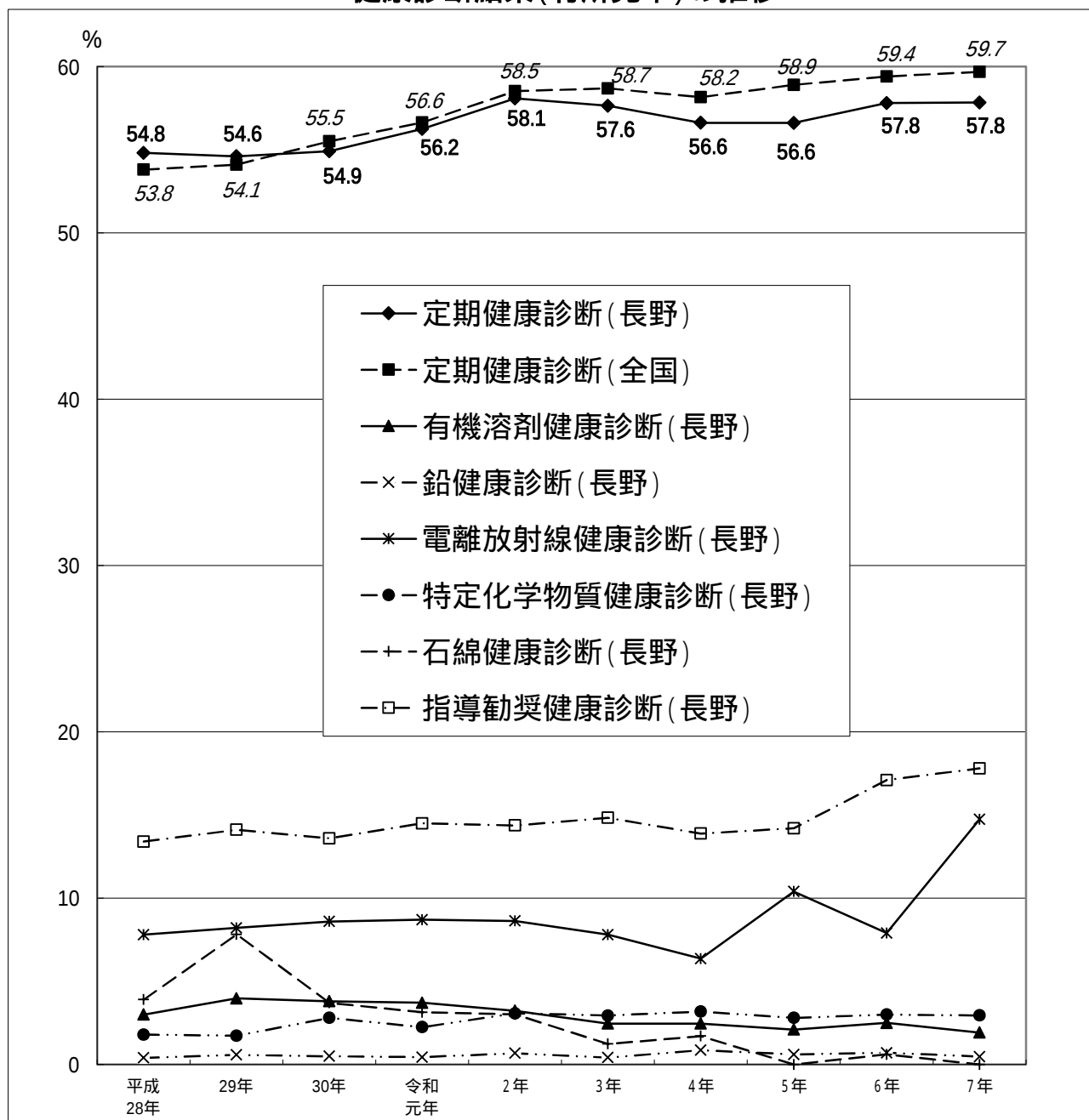
資料：労働者死傷病報告（休業4日以上 の 死傷。厚生労働省集計確定値の内数（各翌年4月集計））。ただし、「じん肺症及びじん肺合併症」を除く。

（注） 1 疾病分類は労働基準法施行規則第35条によるものを整理したものである。
2 丸数字は死亡者数で内数である。
3 「負傷に起因する疾病」欄内のカッコ書き数字は腰痛の件数で内数である。

4 「がん」の「化学物質」は労働基準法施行規則別表第1の2第7号に掲げる名称の化学物質である。
5 「じん肺及びじん肺合併症」は長野労働局長が、じん肺管理区分が管理4、又は、管理2若しくは管理3で合併症あり、と決定した者の数である（決定した年に計上）。
6 新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く。

第2図

健康診断結果(有所見率)の推移



健康診断種別	年	平成28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
定期健康診断(長野)		54.8	54.6	54.9	56.2	58.1	57.6	56.6	56.6	57.8	57.8
定期健康診断(全国)		53.8	54.1	55.5	56.6	58.5	58.7	58.2	58.9	59.4	59.7
有機溶剤健康診断(長野)		3.0	4.0	3.8	3.7	3.2	2.5	2.5	2.1	2.5	1.9
鉛健康診断(長野)		0.4	0.6	0.5	0.4	0.7	0.4	0.9	0.6	0.7	0.5
電離放射線健康診断(長野)		7.8	8.2	8.6	8.7	8.6	7.8	6.4	10.4	7.9	14.7
特定化学物質健康診断(長野)		1.8	1.7	2.8	2.3	3.1	2.9	3.2	2.8	3.0	3.0
石綿健康診断(長野)		3.9	7.8	3.7	3.1	3.0	1.2	1.7	0.0	0.6	0.0
指導勧奨健康診断(長野)		13.4	14.1	13.6	14.5	14.4	14.8	13.9	14.2	17.1	17.8

注：除染等電離放射線健康診断、じん肺健康診断の実施結果については省略している。

第3表

一般定期健康診断実施結果(令和6年・令和7年)

業 種	区 分	実施事業場数		受診者数 (人) (A)		有所見者数 (人) (B)		有所見率 (%) (B / A × 100)	
		6年	7年	6年	7年	6年	7年	6年	7年
01 製造業									
	食品製造	133	127	12,471	12,298	7,356	7,385	59.0	60.1
	繊維工業	1	1	97	71	56	46	57.7	64.8
	衣服繊維	4	5	309	382	214	239	69.3	62.6
	木材木製	4	4	261	224	182	98	69.7	43.8
	家具装備	3	3	232	216	145	134	62.5	62.0
	パルプ等	11	11	905	920	498	593	55.0	64.5
	印刷製本	20	17	1,318	1,201	787	733	59.7	61.0
	化学工業	66	62	4,646	4,511	2,500	2,580	53.8	57.2
	窯業土石	13	13	1,353	1,274	842	824	62.2	64.7
	鉄鋼業	2	2	509	380	338	247	66.4	65.0
	非鉄金属	16	13	1,434	1,349	790	769	55.1	57.0
	金属製品	107	101	7,385	6,600	4,094	3,588	55.4	54.4
	一般機器	177	189	27,575	29,452	16,114	17,026	58.4	57.8
	電気機器	249	241	37,869	34,952	21,723	19,783	57.4	56.6
	輸送機械	72	72	8,695	8,053	5,368	4,689	61.7	58.2
	電気ガス	17	17	1,758	1,800	1,179	1,322	67.1	73.4
	他の製造	31	34	1,602	1,889	1,023	1,207	63.9	63.9
	小計	926	912	108,419	105,572	63,209	61,263	58.3	58.0
02 鉱業									
	土石採取	0	0	0	0	0	0		
03 建設業									
	土木工事	20	19	1,840	1,350	1,219	996	66.3	73.8
	建築工事	28	30	2,784	2,602	1,738	1,545	62.4	59.4
	他の建設	18	17	1,397	1,279	816	781	58.4	61.1
	小計	66	66	6,021	5,231	3,773	3,322	62.7	63.5
04 運輸交通									
	鉄道等	21	22	1,773	1,772	501	644	28.3	36.3
	道路旅客	22	20	1,385	1,218	856	760	61.8	62.4
	道路貨物	104	96	6,849	6,313	3,652	3,807	53.3	60.3
	他の運輸	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	小計	147	138	10,007	9,303	5,009	5,211	50.1	56.0
05 貨物取扱									
	陸上貨物	3	5	270	336	193	246	71.5	73.2
01～05 中計		1,142	1,121	124,717	120,442	72,184	70,042	57.9	58.2
06～17 農林業ほか									
中計		986	995	69,839	73,743	40,347	42,255	57.8	57.3
01～17 合計		2,128	2,116	194,556	194,185	112,531	112,297	57.8	57.8
全 国		121,617	123,189	12,954,936	13,234,555	7,700,820	7,898,197	59.4	59.7

(注) 「所見のあった者」は、労働安全衛生規則第44条及び第45条で規定する健康診断項目のいずれかが有所見であった者(他覚所見のみを除く。)の人数である。

第4表-1

令和7年 一般定期健康診断項目別有所見率(その1)

業 種		健診実施 事業場数	受診者数	聴力(1,000Hz)		聴力(4,000Hz)		聴力(その他)		胸部X線検査		喀痰検査		血 圧		貧血検査	
				実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率
製造業	食品製造	127	12,298	11,724	3.6	11,724	7.1	574	0.0	11,514	4.3	26	3.8	12,298	17.8	11,835	10.8
	繊維工業	1	71	71	0.0	71	12.7	0	0.0	71	4.2	0	0.0	71	21.1	71	23.9
	衣服繊維	5	382	366	4.1	366	4.6	15	0.0	380	4.5	0	0.0	382	18.6	382	19.4
	木材木製	4	224	224	1.8	224	10.3	0	0.0	219	1.4	0	0.0	224	15.2	224	3.6
	家具装備	3	216	216	4.2	216	9.3	0	0.0	216	0.5	0	0.0	216	18.5	216	2.8
	パルプ等	11	920	867	2.4	867	8.9	75	0.0	863	4.8	0	0.0	920	19.1	901	11.1
	印刷製本	17	1,201	1,173	2.9	1,173	5.7	129	0.0	1,158	3.0	0	0.0	1,201	18.8	1,152	7.7
	化学工業	62	4,511	4,338	3.3	4,338	7.8	439	0.0	4,140	4.3	13	7.7	4,511	18.6	4,324	10.0
	窯業土石	13	1,274	1,270	2.4	1,270	9.9	325	0.3	1,265	3.0	0	0.0	1,274	23.4	1,274	6.0
	鉄鋼業	2	380	378	5.0	378	11.6	0	0.0	379	3.7	0	0.0	380	13.9	380	9.2
	非鉄金属	13	1,349	1,232	3.4	1,232	8.8	118	0.0	1,253	4.9	13	53.8	1,349	15.8	1,295	6.9
	金属製品	101	6,600	6,205	3.1	6,190	8.8	607	0.0	6,244	3.0	87	1.1	6,600	17.2	6,272	7.2
	一般機器	189	29,452	27,741	2.8	27,768	6.7	2,158	0.4	28,206	3.3	4	0.0	29,444	15.5	28,207	6.3
	電気機器	241	34,952	31,830	2.5	31,842	5.4	4,680	0.2	31,760	3.7	98	16.3	34,929	17.2	32,503	6.8
	輸送機械	72	8,053	7,798	2.9	7,801	9.2	523	0.0	7,218	3.2	22	0.0	8,041	16.7	7,903	6.8
	電気ガス	17	1,800	1,733	2.7	1,733	6.4	89	0.0	1,749	7.6	1	0.0	1,800	16.9	1,763	19.6
	他の製造	34	1,889	1,829	4.0	1,829	8.9	84	1.2	1,811	3.8	6	0.0	1,887	23.2	1,886	10.3
	小 計	912	105,572	98,995	2.9	99,022	6.9	9,816	0.2	98,446	3.7	270	9.6	105,527	17.0	100,588	7.7
建設業	鉱業	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	土木工事	19	1,350	1,350	6.2	1,350	18.1	103	0.0	1,334	7.4	0	0.0	1,350	27.3	1,350	7.3
	建築工事	30	2,602	2,544	2.7	2,544	11.2	245	0.0	2,588	3.6	255	0.0	2,601	19.1	2,490	5.9
	他の建設	17	1,279	1,258	3.7	1,258	11.0	104	0.0	1,255	6.9	0	0.0	1,279	17.4	1,279	4.9
	小計	66	5,231	5,152	3.8	5,152	13.0	452	0.0	5,177	5.4	255	0.0	5,230	20.8	5,119	6.0
運輸 交通業	鉄道等	22	1,772	1,749	1.3	1,759	2.8	109	0.0	1,577	4.1	0	0.0	1,772	13.1	1,309	3.3
	道路旅客	20	1,218	1,156	7.4	1,156	17.2	190	0.0	983	10.6	107	0.0	1,218	19.8	1,120	7.9
	道路貨物	96	6,313	6,145	3.7	6,139	10.5	220	0.5	5,763	4.4	8	0.0	6,313	21.5	5,988	7.0
	他の運輸	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	138	9,303	9,050	3.7	9,054	9.9	519	0.2	8,323	5.1	115	0.0	9,303	19.7	8,417	6.6
その他の業種 (林業含む)	陸上貨物	5	336	336	2.1	336	9.2	0	0.0	319	2.5	0	0.0	336	34.5	336	6.5
	農林業	7	336	335	3.3	335	8.1	25	0.0	335	3.9	0	0.0	336	19.6	335	11.0
	畜産水産	1	64	64	6.3	64	20.3	0	0.0	62	4.8	0	0.0	64	14.1	64	17.2
	商業	348	17,553	17,007	3.9	17,007	5.1	542	0.0	16,871	3.6	265	4.5	17,553	19.9	16,887	10.8
	金融広告	44	6,509	4,754	4.4	4,754	5.0	1,740	0.2	6,293	4.9	9	11.1	6,509	14.3	6,501	8.9
	映画演劇	2	83	83	12.0	83	7.2	0	0.0	57	1.8	0	0.0	83	13.3	58	12.1
	通信業	31	3,705	2,908	5.9	2,909	7.3	882	1.0	3,050	7.5	0	0.0	3,705	18.1	3,451	5.6
	教育研究	39	3,124	2,982	2.5	2,982	5.4	116	0.0	3,071	2.5	1	0.0	3,099	18.5	3,012	7.2
	保健衛生	248	23,675	18,028	4.4	18,028	6.0	4,113	0.1	19,922	5.2	12	0.0	23,670	15.0	21,436	10.8
	接客娯楽	108	4,603	4,480	4.1	4,480	6.6	308	0.3	4,285	5.9	146	4.1	4,603	18.5	4,303	10.4
	清掃と畜	36	2,176	2,147	5.6	2,147	13.3	26	0.0	2,118	7.1	0	0.0	2,176	28.1	2,155	8.9
	官公署	4	696	645	3.1	645	5.3	61	0.0	681	4.7	0	0.0	696	13.1	696	13.2
	他の事業	127	11,219	10,702	2.9	10,699	7.0	929	0.1	10,657	6.1	185	11.9	11,219	18.6	10,809	8.6
	小計	995	73,743	64,135	4.0	64,133	6.2	8,742	0.2	67,402	5.0	618	6.6	73,713	17.6	69,707	9.8
合 計		2,116	194,185	177,668	3.4	177,697	7.0	19,529	0.2	179,667	4.3	1,258	5.3	194,109	17.5	184,167	8.4

単位:受診者数・実施者数(人)、有所見率(%)

第4表-2

令和7年 一般定期健康診断項目別有所見率(その2)

業 種		肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査		尿検査(糖)		尿検査(蛋白)		心電図検査		有所見者	
		実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	人数	有所見率
製造業	食品製造	11,891	12.2	11,890	31.4	11,879	13.5	12,053	3.5	12,160	2.7	11,366	12.4	7,385	60.1
	繊維工業	71	15.5	71	26.8	71	15.5	71	1.4	71	0.0	71	11.3	46	64.8
	衣服繊維	382	10.5	382	35.9	382	13.6	372	3.0	372	0.3	374	15.8	239	62.6
	木材木製	223	7.2	223	18.8	223	8.1	223	1.8	223	0.9	224	5.4	98	43.8
	家具装備	216	8.8	216	33.8	216	18.5	214	2.8	214	0.9	216	11.6	134	62.0
	パルプ等	901	17.9	901	29.6	901	11.5	913	2.8	913	3.8	868	12.9	593	64.5
	印刷製本	1,200	12.9	1,200	30.3	1,200	14.8	1,188	3.2	1,188	1.3	1,165	11.9	733	61.0
	化学工業	4,300	14.9	4,300	29.8	4,300	12.8	4,463	3.8	4,463	2.1	4,286	10.5	2,580	57.2
	窯業土石	1,274	19.9	1,274	34.1	1,274	11.1	1,273	4.1	1,273	1.5	1,274	9.1	824	64.7
	鉄鋼業	380	25.3	380	29.5	380	8.9	379	2.4	380	0.8	379	11.3	247	65.0
	非鉄金属	1,290	16.2	1,290	26.7	1,290	11.2	1,342	4.1	1,342	1.2	1,201	11.0	769	57.0
	金属製品	6,286	14.1	6,277	26.8	6,273	9.6	6,528	3.0	6,528	1.6	6,194	9.0	3,588	54.4
	一般機器	28,317	15.5	28,311	30.2	28,311	10.9	29,244	3.5	29,181	1.7	27,762	10.4	17,026	57.8
	電気機器	32,578	15.6	32,566	30.0	32,510	13.1	34,663	3.9	34,672	2.1	31,561	11.1	19,783	56.6
	輸送機械	7,906	15.8	7,906	27.6	7,904	9.9	7,935	3.3	7,987	2.1	7,688	9.7	4,689	58.2
	電気ガス	1,765	21.7	1,765	38.9	1,765	16.3	1,799	3.3	1,798	3.4	1,749	17.7	1,322	73.4
	他の製造	1,885	17.5	1,885	33.6	1,885	12.7	1,861	5.1	1,831	2.1	1,838	12.1	1,207	63.9
	小 計	100,865	15.2	100,837	30.1	100,764	12.0	104,521	3.6	104,596	2.0	98,216	10.9	61,263	58.0
建設業	鉱業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	土木工事	1,350	24.4	1,350	35.9	1,349	17.2	1,350	5.5	1,350	2.7	1,322	12.5	996	73.8
	建築工事	2,559	19.8	2,570	28.6	2,560	14.0	2,567	4.4	2,596	2.4	2,548	9.1	1,545	59.4
	他の建設	1,279	18.9	1,279	28.0	1,279	19.1	1,279	3.7	1,279	2.3	1,279	9.0	781	61.1
	小計	5,188	20.8	5,199	30.4	5,188	16.1	5,196	4.5	5,225	2.4	5,149	9.9	3,322	63.5
運輸交通業	鉄道等	1,311	14.1	1,311	27.2	1,311	9.7	1,771	2.8	1,770	2.1	1,409	4.0	644	36.3
	道路旅客	1,120	18.3	1,120	24.4	1,120	19.0	1,216	8.6	1,216	5.2	1,121	10.7	760	62.4
	道路貨物	6,123	16.0	6,123	28.3	6,123	12.4	6,300	4.4	6,225	2.7	6,077	11.9	3,807	60.3
	他の運輸	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	8,554	16.0	8,554	27.6	8,554	12.9	9,287	4.6	9,211	2.9	8,607	10.5	5,211	56.0
陸上貨物		336	17.6	336	40.2	336	17.0	334	7.5	334	1.5	336	10.1	246	73.2
その他の業種 (林業含む)	農林業	335	11.3	335	27.5	335	13.4	336	4.5	336	4.2	336	11.3	219	65.2
	畜産水産	64	14.1	64	23.4	64	12.5	61	9.8	61	4.9	41	31.7	45	70.3
	商業	16,929	12.6	16,934	27.0	16,894	12.4	17,402	4.5	17,310	1.9	16,535	11.1	10,188	58.0
	金融広告	6,508	9.4	6,508	28.2	6,507	11.7	6,476	2.9	6,477	1.9	5,546	13.4	3,394	52.1
	映画演劇	58	10.3	58	31.0	83	0.0	82	0.0	82	2.4	83	8.4	41	49.4
	通信業	3,436	16.9	3,436	35.7	3,436	11.6	3,688	5.0	3,688	2.8	2,904	16.0	2,299	62.1
	教育研究	3,106	14.6	3,085	31.8	3,110	18.7	3,122	3.1	3,122	2.2	2,995	9.5	1,768	56.6
	保健衛生	21,240	13.0	21,176	29.3	21,079	13.1	23,244	3.0	23,232	4.7	17,268	11.9	13,121	55.4
	接客娯楽	4,376	12.2	4,377	29.6	4,340	12.8	4,464	4.5	4,537	3.7	4,212	10.6	2,722	59.1
	清掃と畜	2,155	15.8	2,155	34.6	2,155	19.2	2,173	6.1	2,173	3.9	2,157	12.7	1,496	68.8
	官公署	696	17.7	696	23.0	696	11.2	693	3.6	693	1.3	695	18.7	450	64.7
	他の事業	10,964	15.0	10,965	27.3	10,931	14.2	11,093	4.9	10,918	3.5	10,922	9.6	6,512	58.0
	小計	69,867	13.2	69,789	28.9	69,630	13.3	72,834	4.0	72,629	3.3	63,694	11.5	42,255	57.3
合 計		184,810	14.7	184,715	29.5	184,472	12.7	192,172	3.8	191,995	2.6	176,002	11.1	112,297	57.8

単位:実施者数(人)、有所見率(%)

第5表

特殊健康診断実施状況の推移(過去30年間)

区分 年	実施事業場数	受診労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (B/A×100) (%)
平成8	2,490	35,063	1,673	4.8
9	2,519	35,121	1,426	4.1
10	2,567	35,181	1,748	5.0
11	2,526	35,418	1,780	5.0
12	2,477	36,413	2,564	7.0
13	2,399	35,066	2,423	6.9
14	2,274	32,051	1,580	4.9
15	2,317	32,584	1,568	4.8
16	2,291	31,041	1,691	5.4
17	2,288	30,298	1,579	5.2
18	2,280	31,757	1,689	5.3
19	2,119	32,293	1,747	5.4
20	2,201	35,918	2,110	5.9
21	2,053	29,501	1,691	5.7
22	2,169	32,110	1,898	5.9
23	2,207	31,890	1,801	5.6
24	2,205	32,515	1,971	6.1
25	2,360	33,572	1,824	5.4
26	2,751	37,840	2,074	5.5
27	3,151	41,740	2,187	5.2
28	3,322	43,812	2,209	5.0
29	3,343	42,892	2,392	5.6
30	3,488	45,938	2,673	5.8
令和元年	3,494	45,280	2,628	5.8
2	3,469	46,924	2,767	5.9
3	3,716	47,748	2,709	5.7
4	3,842	49,034	2,645	5.4
5	4,119	52,753	2,895	5.5
6	3,968	52,328	3,203	6.1
7	4,067	53,166	3,250	6.1

(注)資料:特殊健康診断実施状況報告

第6表-1

特殊健康診断実施結果(令和7年)(その1)

1 法定の健康診断

区 分 対象作業		実施 事業場数	受診 労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (B / A × 100) (%)
有機溶剤		1,082	15,403	295	1.9
鉛		138	1,697	8	0.5
電離放射線		139	2,540	200	7.9
除染等電離放射線		1	2	2	100.0
	ベンジジン	0	0	0	
	ベンゼン含有ゴムのり	1	1	1	100.0
	塩素化ビフェニル	2	18	0	0.0
	ベリリウム	1	1	0	0.0
	アクリルアミド	2	2	1	50.0
	アクリロニトリル	1	7	0	0.0
	塩化ビニル	1	5	2	40.0
	塩素	16	121	5	4.1
	オーラミン	1	7	0	0.0
	カドミウム	9	16	2	12.5
	クロム酸	68	538	6	1.1
	クロロメチルメチルエーテル	1	2	0	0.0
	五酸化バナジウム	0	0	0	
	コールタール	16	496	0	0.0
	シアン化カリウム	49	1,132	16	1.4
	シアン化水素	10	97	1	1.0
	シアン化ナトリウム	31	657	1	0.2
	3・3'-ジクロロ-4・4'-ジアミノジフェニルメタン	6	34	10	29.4
	重クロム酸	4	16	0	0.0
	水銀	8	35	1	2.9
	トリレンジイソシアネート	6	52	1	1.9
	ニッケルカルボニル	2	48	0	0.0
	ニトログリコール	0	0	0	
	パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	1	3	0	0.0
	弗化水素	64	812	2	0.2
	ベンゼン	12	40	4	10.0
	ペンタクロロフェノール	0	0	0	
	マンガン	86	1,486	9	0.6
	沃化メチル	1	1	1	100.0
	硫化水素	9	138	0	0.0
	硫酸ジメチル	1	7	0	0.0
	ニッケル化合物	61	1,005	2	0.2
	砒素	6	127	0	0.0
	酸化プロピレン	3	4	0	0.0
	1・1 - ジメチルヒドラジン	1	1	1	100.0
	インジウム化合物	9	20	0	0.0
	エチルベンゼン	458	3,970	44	1.1
	コバルト及びその無機化合物	122	1,827	60	3.3
	1・2-ジクロロプロパン	1	8	0	0.0
	クロロホルム	32	149	27	18.1
	四塩化炭素	1	1	0	0.0
	1・4-ジオキサン	1	4	3	75.0
	1・2-ジクロロエタン	6	36	5	13.9
	ジクロロメタン	117	1,189	127	10.7
	ジメチル - 2・2 - ジクロロビニルホスフェイト	0	0	0	
	スチレン	109	681	146	21.4
	1・1・2・2-テトラクロロエタン	2	15	0	0.0
	テトラクロロエチレン	12	39	6	15.4
	トリクロロエチレン	72	302	34	11.3
	メチルイソブチルケトン	245	1,609	40	2.5
	ナフタレン	62	723	19	2.6
	リフラクトリーセラミックファイバー	18	509	1	0.2
	オルト-トルイジン	0	0	0	
	三酸化二アンチモン	27	266	7	2.6
	溶接ヒューム	414	3,148	41	1.3
	小計	2,188	21,405	626	2.9
石綿		19	215	0	0.0
高気圧作業		0	0	0	
合計		3,567	41,262	1,131	2.7

第6表-2

特殊健康診断実施結果(令和7年)(その2)

2 指導勧奨による健康診断

対象作業 区 分	実施 事業場数	受診 労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (A/B×100) (%)
紫外線・赤外線	123	1,756	95	5.4
騒音	223	6,740	1,493	22.2
マンガン等(塩基性酸化マンガンに限る)	0	0	0	
有機りん剤	1	34	0	0.0
亜硫酸ガス	2	10	0	0.0
二 硫 化 炭 素(有機則適用以外のものに限る。)	0	0	0	
ベンゼンのニトロアミド化合物	0	0	0	
砒素(特化則適用以外)	1	9	2	22.2
超音波溶着機	6	39	2	5.1
メチレンジフェニルイソシアネート	3	34	0	0.0
フェザーミル等	0	0	0	
都市ガス配管工事	0	0	0	
チェーンソー	18	252	68	27.0
チェーンソー以外の振動工具	16	385	45	11.7
重量物	13	581	65	11.2
引金付工具	7	114	7	6.1
VDT作業	40	1,454	303	20.8
レーザー機器	47	496	39	7.9
合計	500	11,904	2,119	17.8

1 法定の健康診断	合 計	4,067	53,166	3,250	6.1
2 指導勧奨による健康診断					

第7表

健康管理手帳(労働安全衛生法関係)新規交付状況(過去10年間)

	粉じん(管理2)	粉じん(管理3)	石 綿	合 計
平 成 2 8 年	8	0	22	30
平 成 2 9 年	1	0	10	11
平 成 3 0 年	1	0	10	11
平成31年・令和元年	5	1	10	16
令 和 2 年	1	0	14	15
令 和 3 年	0	1	13	14
令 和 4 年	4	1	16	21
令 和 5 年	2	0	8	10
令 和 6 年	2	0	6	8
令 和 7 年	0	0	21	21

※労働安全衛生法関係の健康管理手帳は、「ベンジジン等(ベンジジン、ペーターナフチルアミン、ジアニシジン)」「じん肺(粉じん)」「クロム酸等」「三酸化砒素」「コールタール」「ビス(クロロメチル)エーテル」「ベリリウム」「ベンゾトリクロリド」「塩化ビニル」「石綿」「1, 2-ジクロロプロパン」「オルト-トルイジン」「MOCA(3, 3'-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン)」の業務種類がある。

第8表

じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移(過去30年間)

区分 年	じん肺健康診断実施状況			管 理 区 分 決 定 状 況				有 所 見 者 数 (B) + +	有 所 見 率 (B/A×100) (%)
	粉じん作業を 有する 事業場数	粉じん作業 従事労働者数 (人)	じん肺健診 受診者数 (A) (人)	所見なし 管理1	有 所 見 者 (人)				
					管理2	管理3	管理4		
平成8	1,470	9,400	5,161	(3) 45	(23) 420	(23) 27	(4) 1	(50) 448	8.68
9	1,498	10,659	6,292	(2) 47	(35) 435	(45) 29	(17) 0	(97) 464	7.37
10	1,431	10,063	5,601	(6) 13	(44) 378	(23) 26	(8) 1	(75) 405	7.23
11	1,336	9,790	5,321	(2) 28	(47) 374	(20) 19	(3) 0	(70) 393	7.39
12	1,278	9,397	5,220	(7) 14	(72) 359	(33) 21	(7) 1	(112) 381	7.30
13	1,238	9,122	5,261	(3) 4	(25) 245	(24) 15	(7) 0	(56) 260	4.94
14	1,203	8,641	4,743	(13) 15	(59) 227	(23) 10	(4) 1	(86) 238	5.02
15	1,177	9,281	5,291	(9) 23	(58) 140	(16) 8	(3) 0	(77) 148	2.80
16	1,120	8,917	4,892	(15) 28	(42) 122	(12) 8	(6) 0	(60) 130	2.66
17	1,086	8,116	4,644	(26) 9	(49) 99	(14) 4	(4) 0	(67) 103	2.22
18	1,095	9,717	5,008	(15) 13	(45) 100	(11) 5	(8) 0	(64) 105	2.10
19	1,042	7,431	4,276	(12) 3	(75) 88	(11) 3	(4) 0	(90) 91	2.13
20	1,096	10,715	5,635	(9) 8	(35) 93	(2) 4	(4) 2	(41) 99	1.76
21	1,078	7,984	3,807	(11) 5	(48) 65	(11) 4	(3) 0	(62) 69	1.81
22	1,089	9,876	4,610	(6) 2	(30) 49	(9) 3	(3) 0	(42) 52	1.13
23	1,033	8,417	4,448	(6) 4	(29) 50	(11) 4	(4) 0	(44) 54	1.21
24	1,049	9,487	4,490	(2) 1	(22) 33	(10) 1	(4) 1	(36) 35	0.78
25	1,093	9,229	4,514	(4) 1	(20) 39	(6) 1	(1) 1	(27) 41	0.91
26	1,117	9,894	5,034	(6) 2	(19) 21	(8) 2	(1) 1	(28) 24	0.48
27	1,125	10,227	4,880	(9) 0	(16) 20	(6) 4	(3) 1	(25) 25	0.51
28	1,112	10,075	4,547	(4) 2	(14) 14	(6) 3	(4) 1	(24) 18	0.40
29	1,074	8,936	4,657	(4) 2	(14) 16	(9) 3	(3) 0	(26) 19	0.41
30	1,119	10,712	5,033	(7) 3	(6) 6	(1) 1	(2) 0	(9) 7	0.14
令和元	1,121	9,560	4,432	(4) 3	(10) 6	(6) 1	(1) 0	(17) 7	0.16
2	1,140	10,391	5,245	(0) 0	(11) 4	(6) 0	(0) 0	(17) 4	0.08
3	1,185	12,198	5,464	(3) 0	(8) 6	(5) 0	(0) 0	(13) 6	0.11
4	1,241	11,926	5,173	(2) 1	(8) 5	(4) 0	(0) 0	(12) 5	0.10
5	1,275	12,753	6,303	(1) 11	(1) 7	(0) 1	(2) 0	(3) 8	0.13
6	1,284	12,146	6,006	(5) 6	(0) 3	(0) 0	(2) 0	(2) 3	0.05
7	1,300	13,262	5,875	(8) 5	(3) 3	(1) 0	(0) 0	(4) 3	0.05

1.資料:「じん肺健康診断実施状況」は、「じん肺健康管理実施状況報告」による。

2.管理1は局に提出のあったもので、じん肺診査の結果管理1と決定したもの。

3.カッコ書き数字は随時申請で外数である。

第9表

令和7年 心理的な負担の程度を把握するための検査
(いわゆるストレスチェック)実施状況

区分 業種		検査実施 事業場数	検査を受けた労働者数(人)				面接指導を受けた労働者数(人)				集団分析の実施 の有無	
			検査実施者			合 計	指導実施者			合 計	分析あり 事業場数	分析なし 事業場数
			専任産業医等	専属医師等	非専属医師等		専任産業医等	専属医師等	非専属医師等			
長野県	製造業	785	54,910	11,892	42,249	109,051	628	14	207	849	686	99
	建設業	70	2,185	261	3,168	5,614	4	3	3	10	59	11
	運輸・ 貨物取扱業	128	2,033	962	5,856	8,851	21	1	3	25	118	10
	その他の 業種	1,049	40,828	8,280	31,041	80,149	247	23	42	312	960	89
	合 計	2,032	99,956	21,395	82,314	203,665	900	41	255	1,196	1,823	209
全 国		123,152	8,169,550	1,214,692	4,982,901	14,367,143	56,826	3,133	10,534	70,493	109,023	14,129

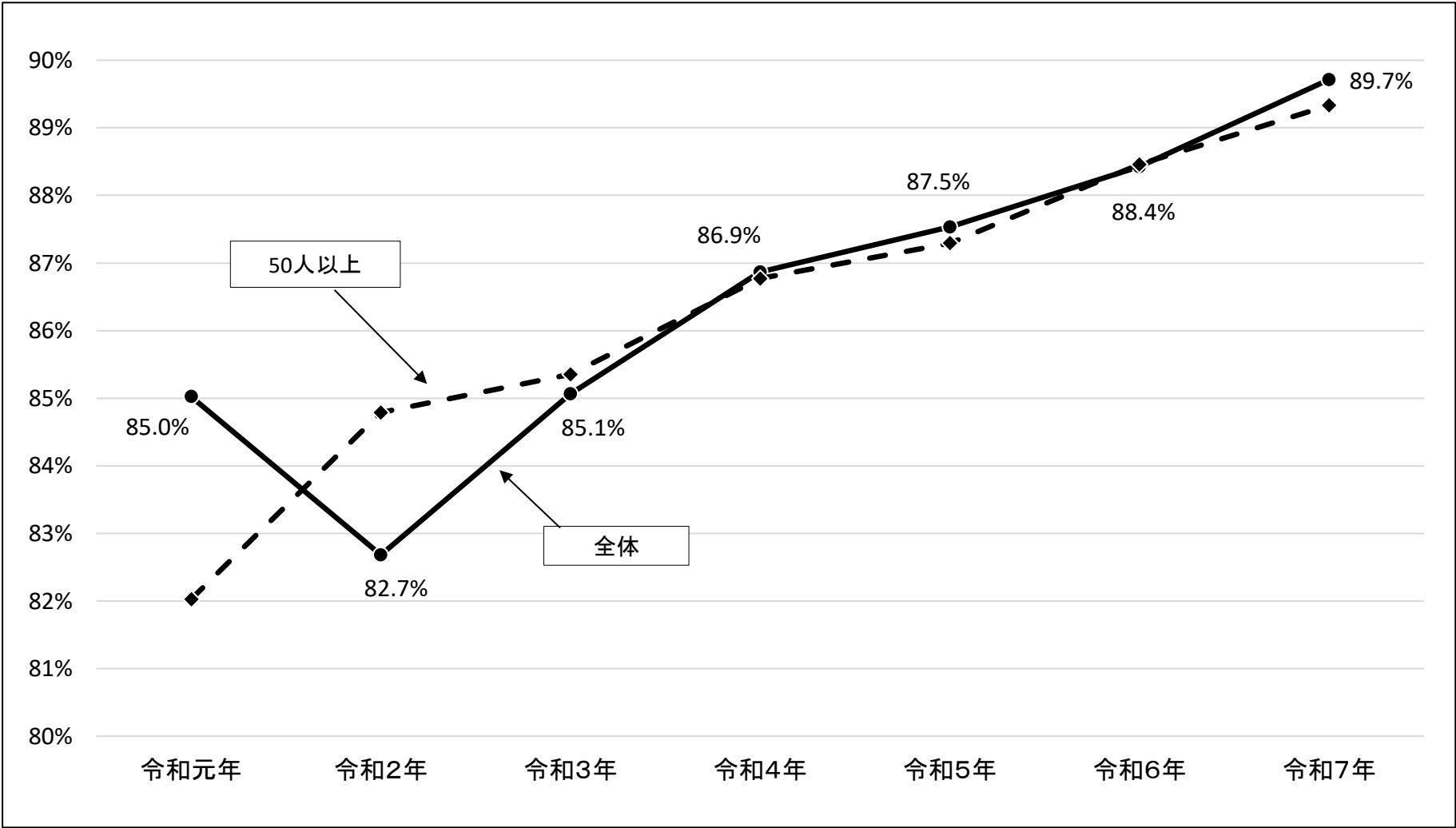
(注) 資料: 心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。規模50人未満の事業場実施分も含む。

第10表・第3図

長野県におけるストレスチェック集団分析実施事業場割合の推移

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
検査実施事業場数	全体	1,963	2,021	1,714	1,782	1,909	1,970	2,032
	50人以上	1,942	1,696	1,502	1,542	1,692	1,733	1,753
集団分析あり 事業場数	全体	1,669	1,671	1,458	1,548	1,671	1,742	1,823
	50人以上	1,593	1,438	1,282	1,338	1,477	1,533	1,566
集団分析あり 事業場割合 (%)	全体	85.0%	82.7%	85.1%	86.9%	87.5%	88.4%	89.7%
	50人以上	82.0%	84.8%	85.4%	86.8%	87.3%	88.5%	89.3%

(注): 資料: 心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。それぞれ上欄は規模50人未満の事業場実施分も含み、下欄は規模50人以上の事業場の状況(事業場数は下欄は上欄の内数)。



第11表

令和7年 工業中毒等特殊疾病事例

整理番号	発生月	業種	災害発生状況の概要
1	3月	製造業	工場倉庫において、硫酸亜鉛七水和物が入っていた空き袋を外袋と内袋に分別して廃棄するため、作業台下段に電気ストーブを置いて作業していたところ、袋に付着した結晶状の硫酸亜鉛七水和物が電気ストーブの熱により粉じん化し、ばく露、過敏性肺臓炎を発症した。
2	4月	建設業	立木の伐採作業中、うるしに触れたため、労働者1人が顔が腫れただけ、もう1人が手がかゆくなりたされた。
3	4月	社会福祉施設	次亜塩素酸ナトリウムの消毒液を専用ボトルに小分け作業中、ボトルが満タンになったため元容器のコックを閉めようとしたが間に合わず、飛散した消毒液が眼球に付着した。
4	4月	建設業	掘削作業において消石灰で白線を引くために、消石灰の入ったバケツを持っていたところ、誤ってバケツを落としてしまい、飛散した消石灰が眼球に付着した。
5	5月	畜産業	フォークリフトを修理するために、ガソリンエンジンのアーク溶接機をビニールカーテンによって閉め切られた屋内で使用したところ、排気ガスにより一酸化炭素中毒を発症した。
6	5月	製造業	治具に付着したペーストの拭き取り作業終了後、ゴーグルを外した際に眼に違和感を感じた。 ペーストや溶剤等の飛散はなかったことから、使用していたアルコール系有機溶剤が気化しばく露したものと思われる。
7	6月	製造業	ポリエステル手袋を着用し、メチルエチルケトンを用いて金属部品に付着した汚れの除去作業を行っていたところ、溶剤が手袋にしみこんでしまい、指先に炎症を発症した。
8	7月	旅館業	労働者3人で大浴場のカビ取り作業を行っていたところ、水酸化ナトリウム等を含むカビ取り剤を希釈割合を誤って使用し、また有効な保護具を使用しなかったために、当該労働者3人が眼や喉の痛みを訴えた。
9	8月	道路貨物運送業	タンクローリーにより輸送した酢酸を、輸送先敷地内駐車場においてタンクローリーからプラスチック製容器へ移液して行っていたところ、着用していたゴム手袋に穴が開いていたため、酢酸が手袋内に浸入し化学熱傷を負った。
10	9月	建設業	コンクリートの攪拌作業を行っていたところ、モルタルが飛散し衣類に付着、化学熱傷を負った。
11	9月	建設業	発電機に接続した電動ノコギリを用いて金庫内の配管撤去作業を行っていたところ、金庫内中2階に置いた発電機からの排気ガスにより一酸化炭素中毒を発症した。

(休業4日未満、不休災害を含む)

第12表・第4図 長野県の熱中症による労働災害発生状況

データ出所:労働者死傷病報告を長野労働局労働基準部健康安全課で分析したもの(令和8年4月集計)

■ 熱中症の業種別・年別発生状況(休業4日以上、単位:人)

業種	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
製造業		2	1	(1) 3	1			3	2	1		2	2	10	(1) 27
建設業	5	(1) 2	2		5		5		1	1	3	5	3	3	(1) 35
道路貨物運送業				1	1	1	2			2	3	1	1	7	19
農業								1				(1) 2	1	1	(1) 5
林業								1							1
商業	1	2					(1) 2	1	1		(1) 2	4		3	(2) 16
保健衛生業							1	1	1		1			3	7
旅館業							1	1		1				1	4
飲食店	1														1
ビルメンテナンス業	1							1	1		1	1	1		6
産業廃棄物処理業			1	1				1			1		(1) 1		(1) 5
警備業		2				1	5	(1) 1	1	1	1		3	4	(1) 19
その他		1					3	3	4	3	1	2	3	3	23
合計	8	(1) 9	4	(1) 5	7	2	(1) 19	(1) 14	11	9	(1) 13	(1) 17	(1) 15	35	(7) 168

※ ()内は死亡者数で内数

■ 熱中症の被災者年代別発生状況(平成24年～令和7年)

被災者年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
熱中症(人)	7	(1) 21	(1) 27	(1) 30	(1) 37	(1) 33	(2) 13	(36) 168

※ ()内は死亡者数で内数

■ 熱中症の月別発生状況(平成24年～令和7年)

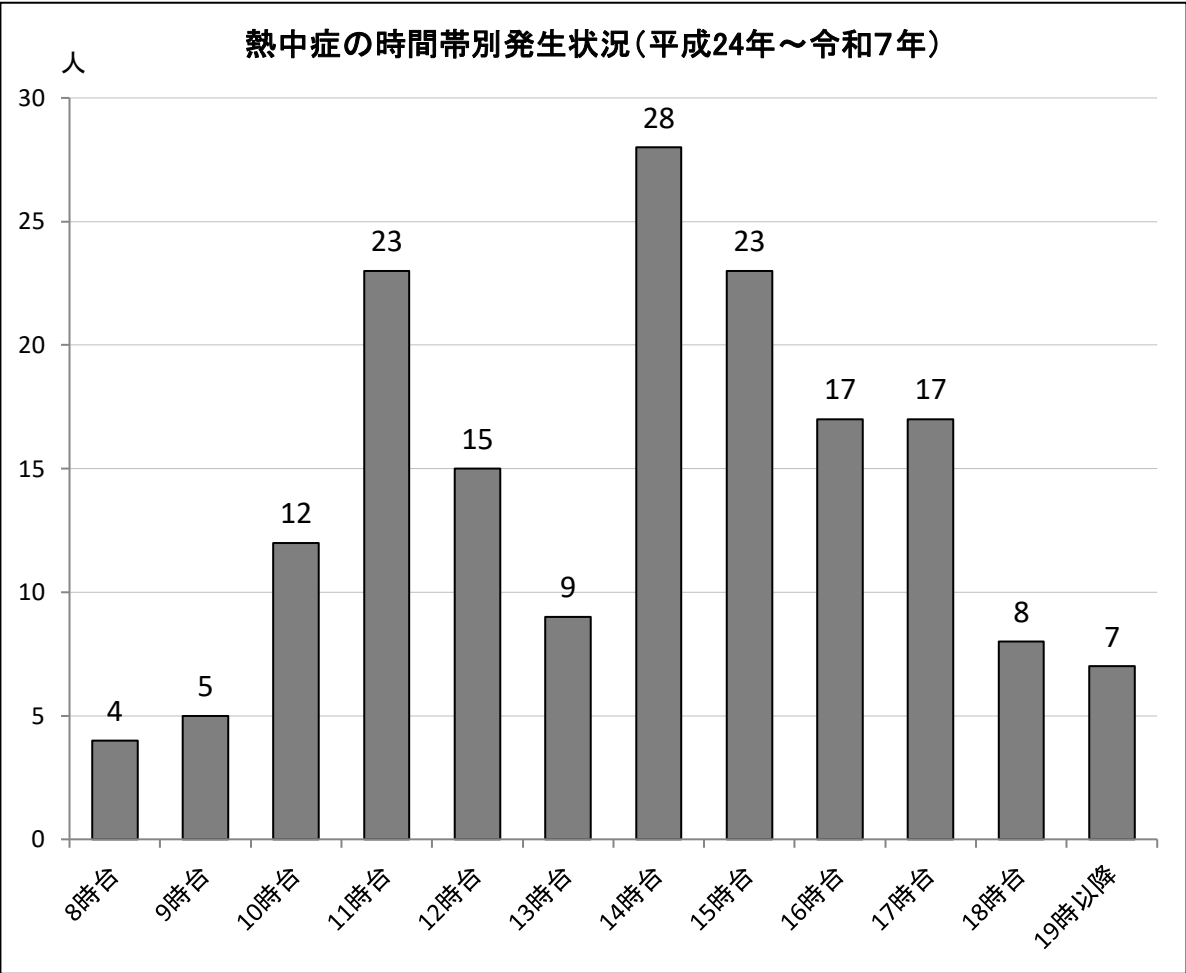
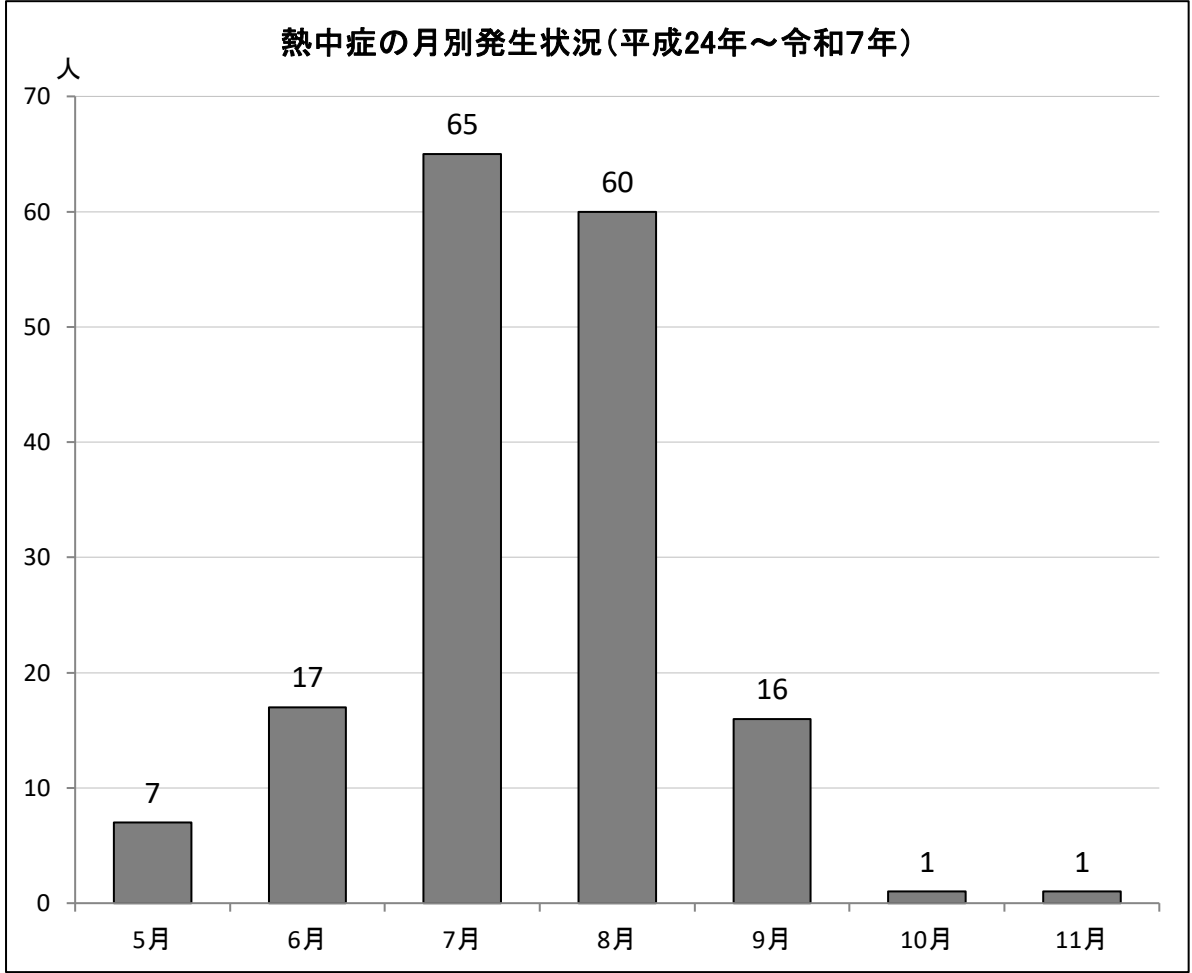
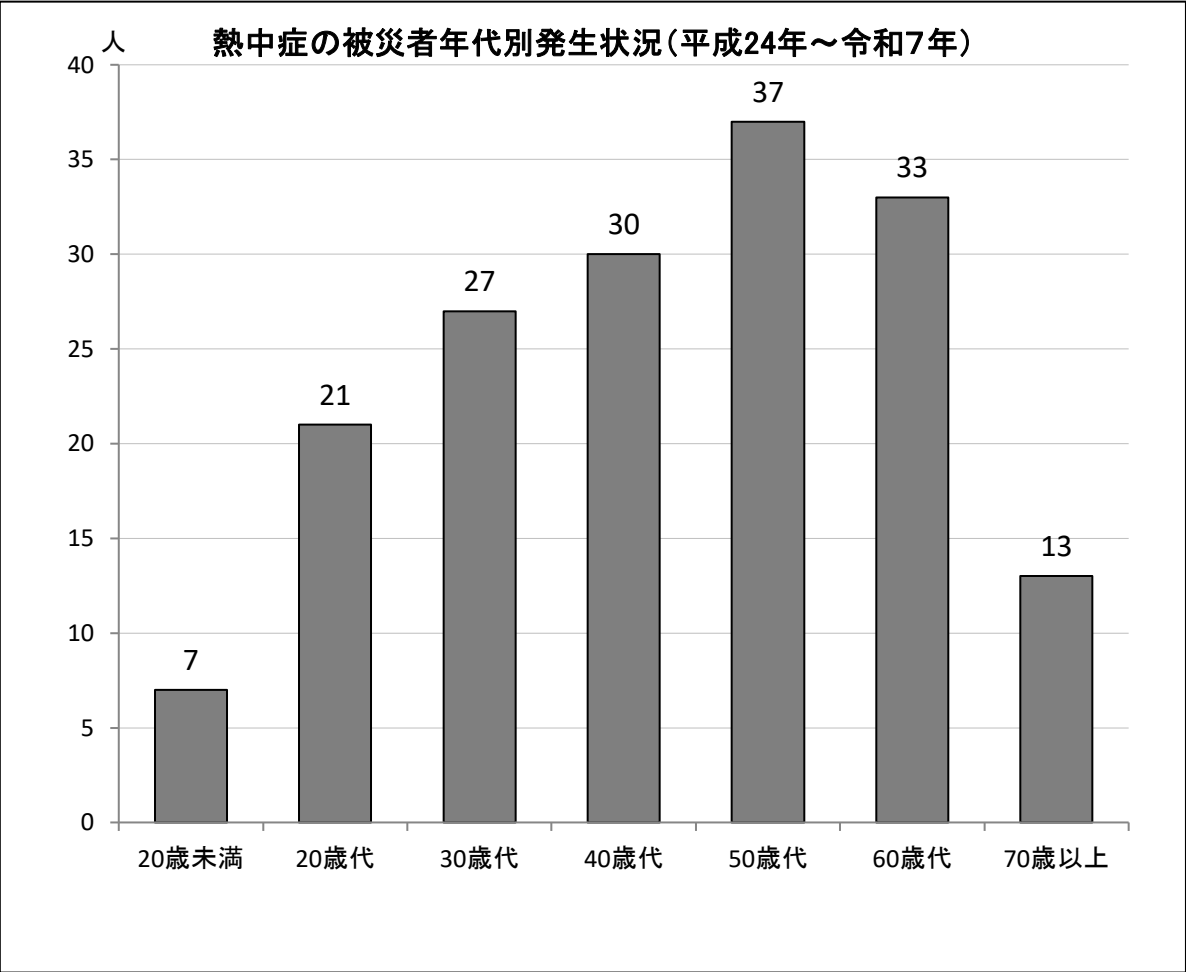
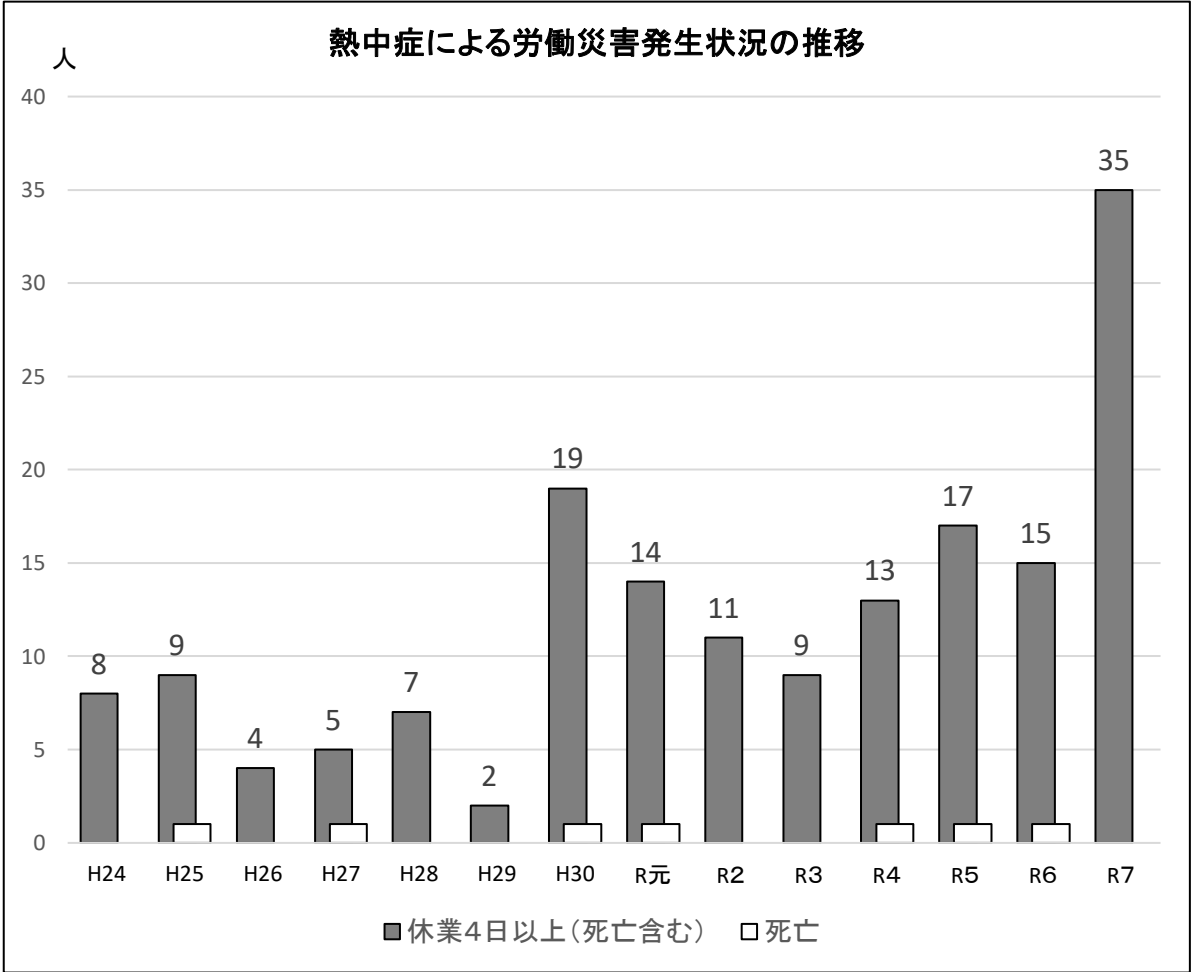
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
熱中症(人)	1	7	17	(3) 65	(4) 60	16	1	1	(7) 168

※ ()内は死亡者数で内数

■ 熱中症の時間帯別発生状況(平成24年～令和7年)

時間帯	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	合計
熱中症(人)	4	5	12	(1) 23	(1) 15	(1) 9	(2) 28	23	17	(1) 17	8	(1) 7	(7) 168

※ ()内は死亡者数で内数



第13表 長野県の熱中症による災害事例(平成24年～令和7年)

■ 熱中症による死亡災害事例(全件)

発生年・業種	発生状況の概要
平成25年 建設業	墓地のリフォーム作業中(玉砂利部分を石貼りに変更する工事)、石貼り作業に従事していた被災者が石柵(高さ52cm)にもたれ込んでいることを工事担当が発見し、消防署へ通報、救急搬送されたが死亡したもの。
平成27年 製造業	食品残渣等廃棄物から有機肥料を製造する事業場において、廃棄物の入ったフレコンバックを車両積載形トラックレーンの荷台から下ろす作業を行っていた被災者が意識を失い倒れた。
平成30年 商業	真夏の屋外で露店を営業するため、午前中から調理器具の準備や仕込等の作業を行い、また、同所において、夕方からの営業で接客等の作業を行い熱中症を発症した。
令和元年 警備業	道路上で交通誘導業務を行っていたところ、熱中症を発症した。
令和4年 商業	顧客の農業用ハウス内において14時頃から被災者一人で自動カーテンのワイヤー交換作業を行っていたところ、意識を失い倒れた。17時頃に顧客関係者に発見され、救急搬送されたが死亡したもの。
令和5年 農業	朝方から水田脇の畦道の草刈り作業をしていたところ、作業現場で倒れているところを、通りがかった付近の住民が発見し、救急搬送されたが死亡したもの。
令和6年 産業廃棄物処理業	サイロ内でオガクズをトラックに積み込む作業に従事していた被災者が、堆積したオガクズに埋まった状態で発見され、熱中症による死亡と診断された。

■ 熱中症による死亡災害事例(参考:長野県内への出張中の労働者にかかるもの)

発生年・業種	発生状況の概要
令和3年 商業	屋根に設置された太陽光パネルの点検清掃作業等を行っていたところ、倒れているところを発見され、病院へ搬送されたが死亡したもの。

■ 熱中症による主な休業災害事例(平成24年～令和7年)

業種	発生状況の概要
製造業	エアコンが稼働している工場内において、電気配線の組立作業を行っていたが、室温が30度ほどになり、午後3時ころから頭痛、吐き気の症状が発生し、終業後も体調が戻らないため、病院を受診した。
製造業	製造ラインで部品を取り付ける作業を屈んで行っていたところ、座り込み、そのまま倒れた。意識を失い、けいれんが発生していたため救急車で搬送された。
製造業	製造ライン(めっき槽)のメンテナンス作業中、羽羽、マスクを着着用作業を行っていたところ、手指の痙攣が発生し、病院を受診した。
建設業	個人住宅の現場において、基礎周りを70cm程度手掘りで掘削していたところ、めまいや吐き気が出て、仕事が出来なくなった。
建設業	建築工事現場において、型枠組立て作業に従事し、休憩の際、水分を摂取しようとしたが嘔吐し、手足のしびれが発生、その後、全身の痙攣が始まったため、救急車で病院へ搬送された。
建設業	住宅基礎工事現場において、コンクリート圧送作業に従事していたところ、手足のしびれとめまいのため、動けなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	構内で仕分け作業中、体調が悪くなり、休憩をとっていたが、立ち上がることができなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	客先構内で集荷業務を行っていた際、全身が痙攣し動けなくなったため、救急車で病院へ搬送された。
林業	草刈作業中に、草を集める作業を行っていたところ、具合が悪くなり座り込んだ。その後入院となった。
教育研究業	埋蔵文化財の遺構精査作業中に立ち眩みをおこして緊急搬送された。一週間後、再び熱中症の症状が現れ救急搬送された。
保健衛生業	保育園敷地内の屋外プールの清掃作業中、吐き気がし、屋内にて休んでいたものの体調が回復しなかったため、病院を受診した。
接客娯楽業 (旅館業)	ホテル内ランドリー(室温38度)で作業後、帰宅途中で体調不良となり、帰宅後救急搬送された。
接客娯楽業 (公園・遊園地)	炎天下でグラウンドの散水作業中、長時間の作業後、頭痛を訴え、嘔吐した。
ビルメンテナンス業	ホテルの客室清掃作業中、水分補給が不足していたため、ホテルフロア内にて具合が悪くなり自力で歩けなくなったことから、救急車により病院へ搬送された。
警備業	警備業務中、他の従業員から様子がおかしいとの連絡が入り、当人へ連絡したところ、呂律が回らず、休憩を取らせたが、回復がなかったため、救急車で病院に搬送された。
警備業	交通誘導業務を行っていたところ、頭痛を発症したが我慢して業務を継続。帰宅後に頭痛が悪化し、嘔吐と下痢を発症して動けなくなったため、病院を受診した。